小学生（中学年）向け

『いのちをいただく』

坂本義喜／原案　内田美智子／作　魚戸おさむとゆかいななかまたち／絵
講談社　￥1,400

「いただきます」という言葉の裏には「命」がある。命をいただくということは、命をつなぐこと。食肉解体作業員の著者が、ある牛との衝撃的な出会いを描いた。人と動物の命のつながりについて考えるきっかけとなる一冊。

『かあちゃん取扱説明書』

いとうみく／作　佐藤真紀子／絵
童心社　￥1,200

家の中で一番いばっていて命令ばかりするかあちゃん。何とかして思い通りにしたい哲哉はかあちゃんの「取扱説明書（トリセツ）」を作ることを思いつく。はたしてトリセツ通りにうまくいくのか？親子で一緒に楽しめること間違いなし。

『さみしかった本』

ケイト・バーンハイマー／文　クリス・シーバン／絵　福本友美子／訳
岩崎書店　￥1,500

鶯色の本は図書館でたくさんの子ども達に読まれ嬉しかったが、次第に忘れられ、寂しい日々を過ごす。ところがある日、１人の女の子がこの本を気に入り、彼女の心に寄り添う本となった。幸せな本との出会いを描いた絵本。

『ソフィー・スコットの南極日記』

アリソン・レスター／作　斎藤倫子／訳
小峰書店　￥1,500

南極の自然の不思議さ、おもしろさを、9歳の少女がナビゲート。氷山やオーロラ、ペンギン、猛吹雪体験から、南極観測隊の仕事や観測基地の紹介まで、絵と写真を使った日記形式で描く。南極入門に最適の一冊。

『つなみてんでんこ はしれ、上へ！』

指田和／文　伊藤秀男／絵
ポプラ社　￥1,300

「えっ、この子たちが、あの大津波を逃げきった子たち？！」東日本大震災で被災した釜石市を訪れた作者が驚き、伝えなければと感じた防災教育の大切さ、そして、子ども達のすなおな感受性と生きる力にあふれた絵本。

『図書館のトリセツ』

福本友美子、江口絵理／著　スギヤマカナヨ／絵
講談社　￥1,200

タイトルは「図書館の取扱説明書」の略。基本編では本の並び方や分類記号の意味など目当ての本の探し方や借り方を、応用編では面白い本に出会う裏技などを紹介。子ども達が楽しく図書館を利用するためのわかりやすいガイドブック。

『ネバーギブアップ！』

くすのきしげのり／作　山本孝／絵
小学館　￥1,200

5時間目の学級会で「第1回4年3組うでずもうナンバー1決定戦」の開催が決まった。泣き虫のジュンは腕相撲が大の苦手。だが一緒にトレーニングし、「続ける力」を教えてくれた先生、父親、姉の想いにジュンが勇気をもって応える。

『わらうきいろオニ』

梨屋アリエ／作　こがしわかおり／絵
講談社　￥1,200

どうして青や赤じゃないといけないの？僕は生まれた時から黄色い鬼…。独りぼっちのきいろオニは、子ども達と仲間になりたいと願ったが、見かけのことではやしたてられる。嫌われない様に無理をして笑わせ続けたが…。

その他のおすすめの本

- 『いしのはなし』
  ダイアナ・アストン／文　シルビア・ロング／絵　千葉茂樹／訳　ほるぷ出版　￥1,500
- 『江戸の子ども ちょんまげのひみつ』
  菊地ひと美／作　偕成社　￥1,200
- 『この羽だれの羽？』
  おおたぐろまり／作・絵　偕成社　￥1,600
- 『こんな家にすんでたら』
  ジャイルズ・ラロッシュ／作　千葉茂樹／訳　偕成社　￥1,600
- 『世界文化遺産 富士山のすごいひみつ100』
  グループ・コロンブス／編　主婦と生活社　￥952
- 『大天狗先生の㊙妖怪学入門』
  富安陽子／著　少年写真新聞社　￥1,600
- 『田んぼの一年』
  向田智也／作　小学館　￥1,400
- 『ねむの花がさいたよ』
  にしがきようこ／作　戸田ノブコ／絵　小峰書店　￥1,300
- 『バーナムの骨』
  トレイシー・E.ファーン／文　ボリス・クリコフ／絵　片岡しのぶ／訳　光村教育図書　￥1,500
- 『みな また、よみがえる』
  尾﨑たまき／写真・文　新日本出版社　￥1,500
- 『もしも宇宙でくらしたら』
  山本省三／作　村川恭介／監修　WAVE出版　￥1,300
- 『やさしい大おとこ』
  ルイス・スロボドキン／作・絵　こみやゆう／訳　徳間書店　￥1,700